

県宮船越地区土地改良事業変更計画書

区画整理事業

（農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業（経営体育成型））

宮 城 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象 及 び 海 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
3.	海 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土 地 利 用 の 状 況	4
4.	土 地 所 有 の 状 況	5
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	8
3.	河 川 状 況	11

次

第 4 節	道 路 概 況	12
1.	道 路 概 況	12
2.	主要道路一覧表	12
第 5 節	地域農業の概況	14
1.	産業別就業人口	14
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	14
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	15
4.	主要作物作付状況	15
5.	農業の動向	16
第 6 節	地域環境の概況	16
第 4 章	一 般 計 画	17
第 1 節	事業計画の要旨	17
1.	要 旨	17
2.	事業別面積	17
第2節	営農計画及び土地利用計画	18
1.	営 農 計 画 の 概 要	18
2.	土 地 利 用 区 分	18

3.	作付方式	19
4.	生産計画	20
5.	労働改善計画	20
6.	級地別土地利用区分	21
7.	土地配分計画	21
第3節	用水計画	22
1.	計画基準年	22
2.	計画かんがい方式	22
3.	計画用水系統	23
4.	計画用水量	24
5.	水源計画	25
第4節	排水計画	27
1.	計画基準雨量	27
2.	計画排水方式	27
3.	計画排水系統	28
4.	計画排水量	29
5.	排水対策	30
6.	湛水検討	31
第5節	道路計画	31
1.	道路及び索道	31
2.	路線配置図	32

第6節	農用地造成計画	33
1.	農用地造成計画	33
2.	土壌改良	33
第7節	洪水調節計画	33
1.	計画基準雨量	33
2.	計画洪水量及び調節量	33
3.	貯水池	33
4.	洪水調節検討	34
5.	管理計画	34
第8節	干拓計画	34
第9節	農用地整備計画	35
1.	区画整理	35
2.	暗渠排水	37
3.	客土	37
4.	農地保全	37
第10節	老朽ため池改修計画	38
1.	洪水吐改修計画	38
2.	堤体補強計画	38
3.	取水施設改修計画	38

第 5 章	主要工事計画	39	第 6 節	干拓施設	44
第 1 節	用水施設	39	1.	堤防	44
1.	貯水池	39	2.	潮止め	44
2.	頭首工	39	3.	付属施設	44
3.	揚水機	39	4.	埋立	44
4.	用水路	40	第 7 節	農用地整備施設	45
5.	その他かんがい施設	40	1.	区画整理	45
第 2 節	排水施設	40	2.	暗渠排水	45
1.	排水水門	40	3.	客土	46
2.	排水機	40	4.	除礫	46
3.	排水路	41	5.	農地保全	46
4.	その他排水施設	41	第 8 節	老朽ため池改修施設	47
第 3 節	道路及び索道	41	1.	貯水池	47
1.	道路	41	2.	堤体補強施設	47
2.	索道	42	第 6 章	附帯工事計画	48
第 4 節	農用地造成	42	第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	48
1.	農用地造成	42	第 8 章	環境との調和への配慮	48
2.	土壌改良	43			
第 5 節	洪水調節施設	43			
1.	貯水池	43			
2.	頭首工及び導水路	43			

第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	48
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	48
第 2 節	換 地 区 の 設 定	48
1.	換地区の名称, 所在, 面積	48
2.	換地区を設定する理由	49
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	49
1.	従前の土地の地積の基準	49
2.	用 途 別 予 定 地 積	49
3.	農用地集団化の方針	50
4.	非農用地換地の方法	50
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	50
1.	評 価 の 方 法	50
2.	清 算 の 方 法	50
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	51
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	51
第 10 章	事業費の総額及び内訳	51
第 11 章	効 用	52
第 12 章	関 連 す る 事 業	52
第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	53

第 1 章 目 的

本地域は、宮城県大崎市の東部に位置し、北側に一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川、南側を鹿島台丘陵に囲まれた水田単作地帯である。
 地区内の現況ほ場は昭和30年代に10a区画に整備されたものの、末端水路は用排兼用の浅い土水路のため水管理に苦慮している状況にある。
 また、農道幅員が狭小であることから、大型機械の導入が困難で多くの労力を必要とし、生産性が低く近代的農業経営に支障をきたしている状況にある。
 そこで、本事業によりほ場・道路・用排水路、暗渠排水等の整備を行い、耕地の汎用化、水管理の合理化を図るとともに、農地の利用集積と経営体の育成・支援を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業の確立を目指すものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区画整理事業	宮城県大崎市鹿島台

第 2 節 地 積

(令和4年5月現在)

(令和7年3月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	山	林	道水路敷	そ の 他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	原	野	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	大崎市	82.0 81.7	0.5 0.4	－ －	－ －	9.5 9.5	－ －	92.0 91.6	
合 計		82.0 81.7	0.5 0.4	－ －	－ －	9.5 9.5	－ －	92.0 91.6	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	鹿島台観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	H17年～H26年	5月～8月	9月～4月	又は平均	
平均気温(℃)		20.0	7.1	11.4	
降水量	平均(mm)	448.0	665.8	1,113.7	
	基準年(mm)	-	-	-	
降水日数	平均(日)	-	-	-	
	基準年(日)	-	-	-	
根雪期間		-月-日～-月-日-日間			
無霜期間		-月-日～-月-日-日間			
最多風向		WNW	最大風速 (風向)	18.6 m/s (-)	最多風向発生時期 -月～-月 最大風速発生年月日 -

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
鹿島台観測	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	
観測期間																
S27年～H26																
最大日雨量 (mm)	237	S23. 9. 21	1/ 656	227	S61. 8. 4	1/ 444	208	S41. 9. 24	1/ 209	140	S41. 6. 28	1/ 13. 9	138	S35. 10. 7	1/ 12. 8	
最大2日連続 雨量(mm)	-	-	- -	-	-	- -	-	-	- -	-	-	- -	-	-	- -	
最大3日連続 雨量(mm)	-	-	- -	-	-	- -	-	-	- -	-	-	- -	-	-	- -	
最大連続 雨量(mm)	337	H23. 9. 19	1/ 104	303	H10. 8. 26	1/ 57	297	S33. 7. 14	1/ 51	271	S61. 8. 3	1/ 31	256	H 3. 10. 6	1/ 23. 5	
最大連続旱天 日数(日)	79	S63. 10. 14	1/ 256	65	H25. 1. 28	1/ 39. 5	62	H12. 1. 14	1/ 27	56	H22. 1. 1	1/ 13	55	S28. 1. 6	1/ 11. 6	

3. 海 象

該当なしに付き省略

(第3表-3)

観測所名	既往最高	さく望平	上下弦平	平均潮位	上下弦平	さく望平	既往最低	備考
観測期間	年～年	潮位(m)	均満潮位(m)	均満潮位(m)	均干潮位(m)	均干潮位(m)	潮位(m)	
実測値								

第 2 節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜 区分	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
		1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/300	1/300 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高		最 低
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
理区 事業 面整	面積 (ha)	-	82.0 81.7	-	-	-	82.0 81.7	0.5 0.4	-	-	-	-	-	-	0.5 0.4	T. P 10. 43	T. P 6. 25	
	比率 (%)	-	100.0 100.0	-	-	-	100.0 100.0	100.0 100.0	-	-	-	-	-	-	100.0 100.0			
合 計	面積 (ha)	-	82.0 81.7	-	-	-	82.0 81.7	0.5 0.4	-	-	-	-	-	-	0.5 0.4	-	-	
	比率 (%)	-	100.0 100.0	-	-	-	100.0 100.0	100.0 100.0	-	-	-	-	-	-	100.0 100.0			

(第4表-1-2)

項 目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)	備 考
	色	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材		
		腐 植	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 グ ラ イ 層				
					表 土	下 層 土						
					一 層	二 層	三 層					
黒 泥 土 壤 粘 土 型	7.5Y	なし	なし	なし	HC	HC	HC	黒泥層	集積	非固結堆積岩	14.9 (0.2) 14.6 (0.1)	G21
灰 褐 色 土 壤 強 粘 土 構 造 型	10YR	含む	なし	含む	Lic	S	HC	-	水積	非固結堆積岩	10.2 (-) 10.2 (-)	G60
灰 褐 色 土 壤 粘 土 質 マ ン ガ ン 型	7.5YR	なし	なし	含む	Lic	Lic	HC	-	水積	非固結堆積岩	3.7 (0.1) 3.7 (0.1)	G61
灰 褐 色 土 壤 壤 土 マ ン ガ ン 型	10YR	なし	なし	含む	LC	LC	Sic	-	水積	非固結堆積岩	53.2 (0.2) 53.2 (0.2)	G63
計											82.0 (0.5) 81.7 (0.4)	()は畑

該当なしに付き省略

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中 程 度 の も の	大 な る も の	
	面積(ha) 比率(%)											

2. 土地分類

該当なしに付き省略

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	※ (ha)	二 級 地 3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	三 級 地 15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	四 級 地 ※ (ha)	30° 以上 (ha)	
												※は傾斜以外の要因によるもの

該当なしに付き省略

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					計 (ha)	備考
	一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)			

3. 土地利用の状況

(令和4年5月現在)

(令和7年3月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 樹 園 地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理事業	大 崎 市	82.0 81.7	0.5 0.4	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	9.5 9.5	92.0 91.6	
合 計		82.0 81.7	0.5 0.4	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	9.5 9.5	92.0 91.6	

4. 土地所有の状況

(令和4年5月現在)

(令和7年3月現在)

(第4表-4)

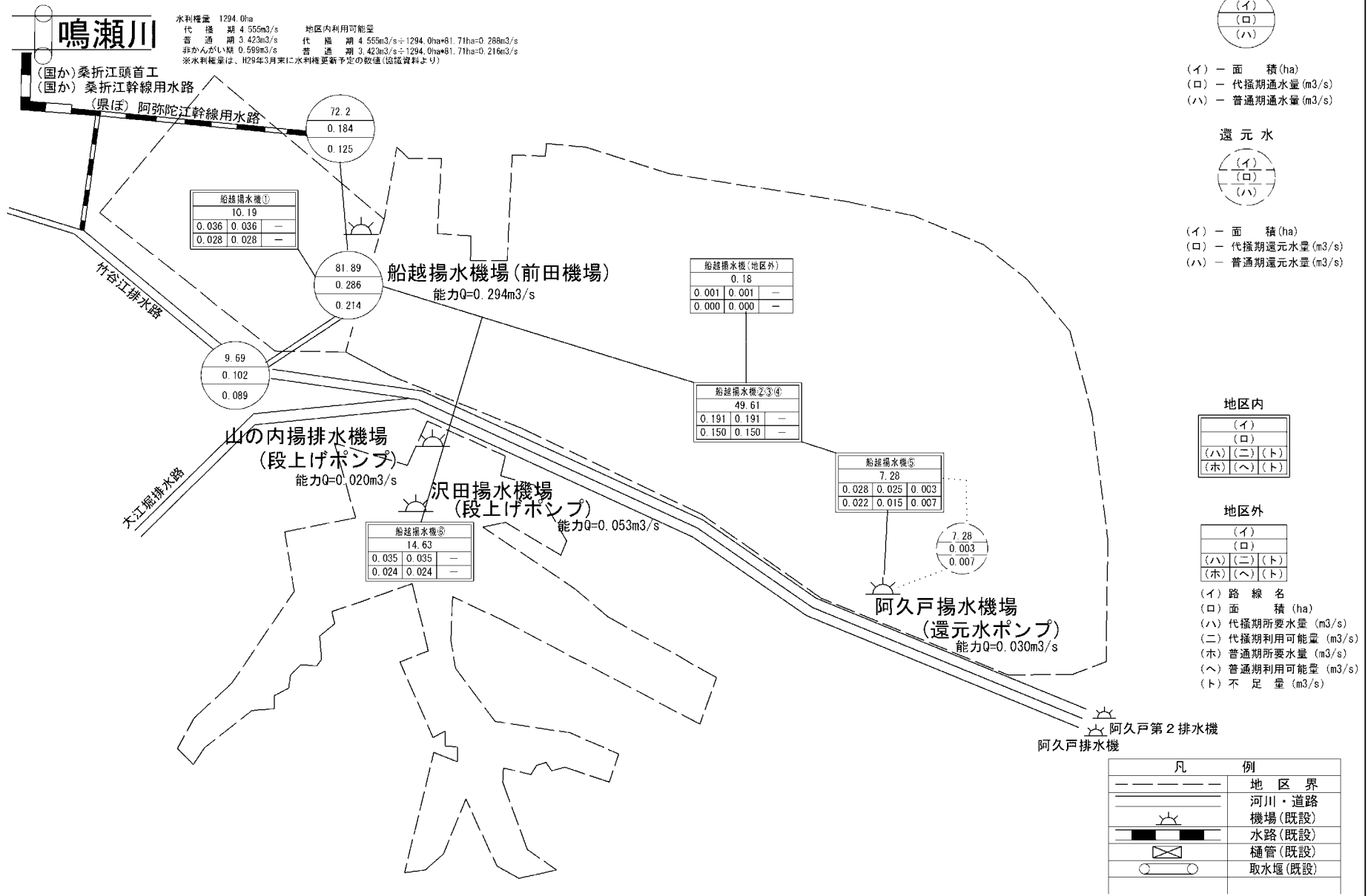
事業名	所有別 区分	個人有	市町村有	県有	国有	その他		計	備考
区画整理事業	面積 (ha)	82.5 82.1	9.3 9.3	- -	0.2 0.2	0.0 -		92.0 91.6	
	受益者数 (人)	88 61	-	-	-	-		-	
	筆数 (筆)	864 866	394 413	- -	16 16	2 -		1,276 1,295	
	権利関係	所有権等	-	-	-	-		-	
	備考 (関係戸数)	88 127	-	-	-	-		-	
合 計	面積 (ha)	82.5 82.1	9.3 9.3	- -	0.2 0.2	0.0 -		92.0 91.6	
	受益者数 (人)	88 61	-	-	-	-		-	
	筆数 (筆)	864 866	394 413	- -	16 16	2 -		1,276 1,295	
	権利関係	所有権等	-	-	-	-		-	
	備考 (関係戸数)	88 127	-	-	-	-		-	

第 3 節 水 利 状 況

1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川に設置されている桑折江頭首工から取水し、桑折江幹線用水路を経て、受益地内へかんがいされている。
地区内の用水路は、用排兼用の浅い土水路が殆どで、水管理を行う上で多大な支障をきたしている。

(1) 用水系統



(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

（第3表）

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500 ha以上		500 ～ 100ha		100 ha 未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s		
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	1	82.0	1	82.0	1	0.289	-	-	0.289	桑折江頭首工
		-	-	-	-	1	81.7	1	81.7	1	0.288	-	-	0.288	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	-	-	-	1	82.0	1	82.0	1	0.289	-	-	0.289	
						1	81.7	1	81.7	1	0.288	-	-	0.288	

()は本地区分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更 新 年	改修を必要とする理由	備考
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	-	-	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	82.0 81.7	土水路	L=10, 668m L=10, 668m	S30年代	老朽化、漏水、用排水分離	
	その他	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	82.0 81.7	-	L=10, 668m L=10, 668m	-	-	

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-1)

事業名	項目 かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量		備考
			かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
	系統名	平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	平均 (千m³)	基準年 (千m³)	作物名	減産量(t)		

(イ) その他の被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい 面 積 (ha)	水温 (°C)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-3)

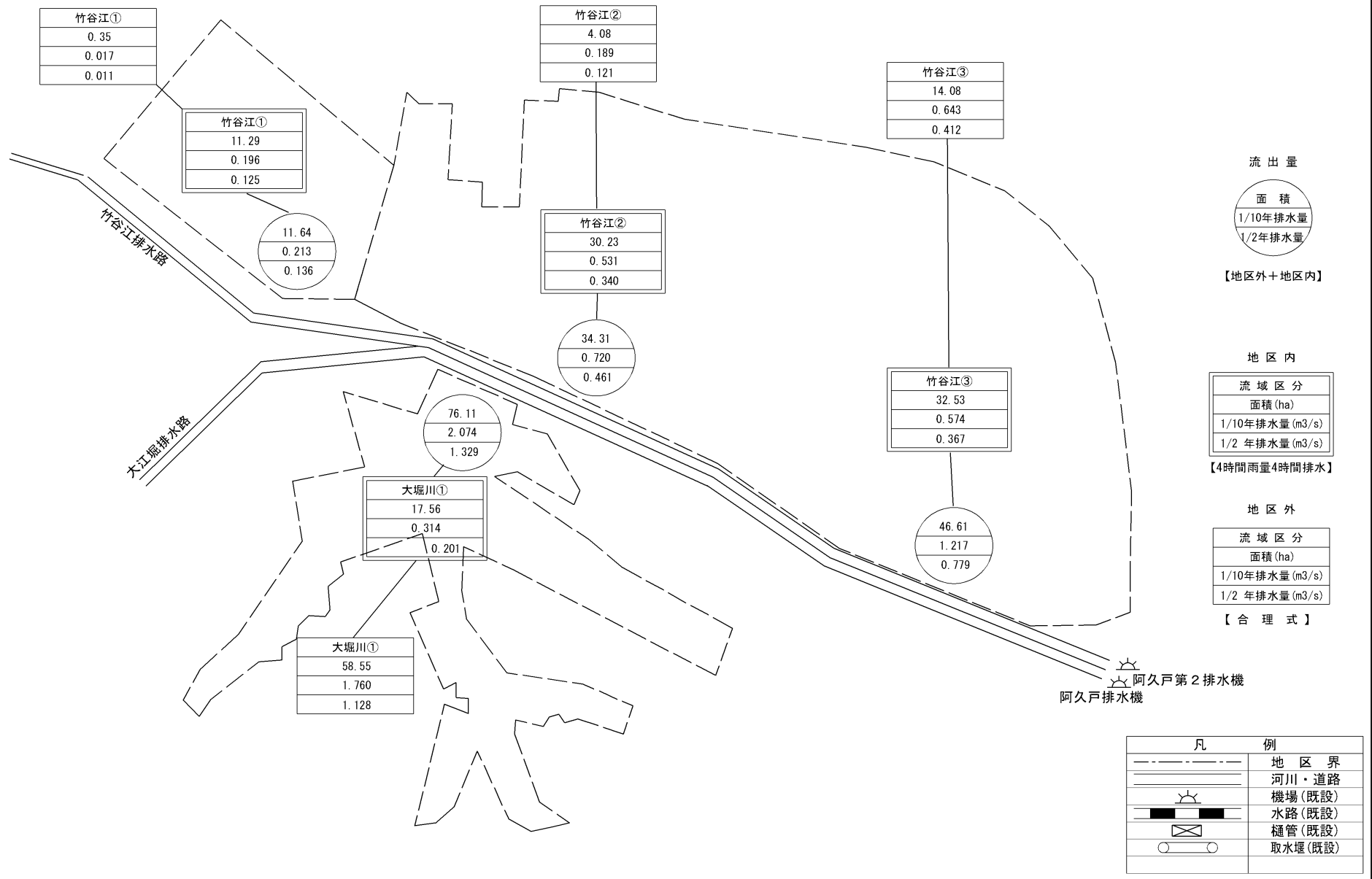
事業名	想 定 被 害 面 積 (ha)				被 害 想 定 額 (百万円)						備 考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施 設	公 共 施 設	家 屋 その他	計	

2. 排水状況

本地区の排水は、地区内排水路を経て幹線排水路に集水され、常時排水は自然排水で洪水時は阿久戸第2排水機場から一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川へ機械排水されている。

地区内の排水路は、用排兼用の浅い土水路が殆どで、水路底も浅いため排水性が悪く湿潤農地であることから、耕地の汎用化に支障をきたしている。

(1) 排水系統



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500 ha 以上		500 ~100ha		100 ha 未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
区画整理事業	自然	排水路	-	-	-	-	1	92.0	1	92.0	4.227	57.078	一級河川鳴瀬川 (竹谷江排水路 大堀川)
			-	-	-	-	1	91.6	1	91.6	4.209	57.078	
	機械	水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び 排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び 排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計			-	-	-	-	1	92.0	1	92.0	4.227	57.078	
							1	91.6	1	91.6	4.209	57.078	

()は本地区分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
区画整理事業	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	-
		水門	-	-	-	-	-		
	機械	排水機	-	-	-	-	-	老朽化、漏水、 用排水分離	-
		水門及び 排水機	-	-	-	-	-		
		排水路及び 排水機	-	92.0	土水路、柵渠	L=10,571m	S30年代		
		排水機	91.6	L=10,571m					
合計			-	92.0 91.6	-	L=10,571m L=10,571m	-	-	

(3) 排水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深	湛水時間	湛水面積	湛水量	田		畑		その他		作物名	減産量	
					(cm)	(hr)	(ha)	(千m ³)	乾	湿	乾	湿	乾	湿	(t)		
			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なしに付き省略

(第5表-7)

河川名	項目 流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-8)

区分	項目 農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第 4 節 道 路 概 況

1. 道路概況

本地区の道路状況は、南北に市道須磨屋平渡線、船越木間塚線、東西に市道五輪崎線、鹿島台中田線、木間塚船越線が走っており、本地域の道路交通の骨格をなしている。また、地区内には本市道に連絡する他の市道や農道が接続されている。これらの主要道路は、殆どがアスファルト舗装により整備されており、地区の生活道路や農産物の集出荷施設等への搬路は整っている。しかし、地区内の農道にあっては、幅員2.0m程度と狭く未舗装であり、耕作・運搬・営農機械の搬入等に多大な支障をきたしている状況である。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
1	その他市道	大崎市	1,997 1,997	5.4	4.4	アスファルト舗装	要	
2	その他市道	大崎市	1,071 1,071	2.5～4.0	2.0～3.5	砂利道	要	
3	農道	大崎市	6,316 6,300	2.0～4.0	2.5～3.5	砂利道	要	
	計	—	9,384 9,368	—	—	—	—	

主要道路現況図



第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(平成27年版 宮城県統計年鑑による)

(令和 5年版 宮城県統計年鑑による)

(第7表-1)

項 目 市 町 村 名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 熱 業 (人)	情 報 通 信 業 (人)	運 輸 業 (人)	卸 売 小 売 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	宿 飲 泊 食 業 店 (人)	医 療 福 祉 社 会 業 (人)	教 育 学 習 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 員 (人)	そ の 他 (人)	備 考
大崎市	63,312 66,887	5,739 5,133	149 169	6 23	16 17	5,777 6,465	12,602 13,512	343 343	480 532	3,435 3,664	9,994 9,725	1,073 1,001	623 750	3,576 3,460	6,412 8,531	2,845 3,105	7,432 8,268	2,248 2,189	562 -	
計	63,312 66,887	5,739 5,133	149 169	6 23	16 17	5,777 6,465	12,602 13,512	343 343	480 532	3,435 3,664	9,994 9,725	1,073 1,001	623 750	3,576 3,460	6,412 8,531	2,845 3,105	7,432 8,268	2,248 2,189	562 -	
比 率 (%)	100 100	9 8	0 0	0 0	0 0	9 10	20 20	1 1	1 1	5 5	15 15	2 1	1 1	6 5	10 13	4 5	12 12	4 3	1 -	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(2015年農林業センサスによる)

(2020年農林業センサスによる)

(第7表-2)

項 目 市 町 村 名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)												1 戸 当 たり 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						耕 地 の 分 散 状 況		専 兼 業 別 農 家 数 (戸)			備 考
		規 定 外 農 家 自 給 的 0.3 未 満 規 定 外 農 家 自 給 的 0.3 未 満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 以 上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 たり 団 地 数	団 地 当 たり 面 積 (ha)	専 業	兼 業				
																					第 一 種	第 二 種			
大 崎 市	4,864 4,021	57 60	46 42	344 231	864 636	794 579	571 459	744 595	696 618	450 454	202 222	96 125	3.32 3.72	0.09 0.32	0.01 0.00	3.42 4.04	0.15 0.19	3.57 4.23	- -	- -	903 -	876 -	2,874 -		
計	4,864 4,021	57 60	46 42	344 231	864 636	794 579	571 459	744 595	696 618	450 454	202 222	96 125	3.32 3.72	0.09 0.32	0.01 0.00	3.42 4.04	0.15 0.19	3.57 4.23	- -	- -	903 -	876 -	2,874 -		
比 率 (%)	100 100	1 2	1 1	7 6	19 16	16 14	12 11	15 15	14 15	9 11	4 6	2 3	93 88	3 8	0 0	96 96	4 4	100 100	- -	- -	19 -	18 -	59 -		

2020年農林業センサスにおいて、専業・第1種兼業・第2種兼業農家数の調査は行われていないため記載省略

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2015年農林業センサスによる)

(2020年農林業センサスによる)

(第7表-3)

項 目 市 町 村 名	動 力 農 機 具							主 要 家 畜								備 考	
	トラクター		田 植 機		自脱型コンバイン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		鶏				
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (羽)	戸 数 (戸)			
大崎市	5,396	4,052	3,288	3,180	2,692	2,567			2,568	117	10,058	573	27,301	28	4,509	21	2020年農林業センサス においては、動力農機 具の調査が行われてい ないため記載省略
	-	-	-	-	-	-			2,095	70	0	455	22,146	20	11,627	16	
計	5,396	4,052	3,288	3,180	2,692	2,567			2,568	117	10,058	573	27,301	28	4,509	21	
	-	-	-	-	-	-			2,095	70	0	455	22,146	20	11,627	16	
100戸当たり数量 (台、頭)	111		68		55				53		207		561		93		
	-		-		-				52		0		551		289		
利用戸数割合 (%)	83		65		53				2		12		1		0		
	-		-		-				2		11		1		0		

4. 主要作物作付け状況

記載データ無しに付き省略

(第7表-4)

市 町 村 名								計	平 均	作 付 率 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)											
総本地面積 (ha)											
区 分 作 物 名		作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)		
		(ha)	(Kg/10a)	(ha)	(Kg/10a)	(ha)	(Kg/10a)	(ha)	(Kg/10a)		
田	水 稲										
	そ の 他										
	小 計										
畑	野 菜 類										
	そ の 他 作 物										
	小 計										
樹 園 地	果 樹										
	小 計										
計											
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)											

5. 農業の動向

(2015年農林業センサスによる)
(2020年農林業センサスによる)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A 現在		B	A 現在	作 物 名	B	A 現在	家 畜 名	B	A 現在	農 器 機 名	B	A 現在		
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	74 83	61 69	耕 地	87 120	105 116	米	83 116	95 116	乳 用 牛	79 89	70 73	トラクター	81 91	74 0	大崎農業振興地域整備計画 平成28年 農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構造 平成28年 酪農・肉用牛生産近代化計画 平成18年 大崎市産業振興計画 平成24年 改訂 大崎市田園環境マスタープラン 平成20年 地域水田農業ビジョン 平成26年	A : H27年 A : R02年 B : H22年 B : H27年 C : H17年 C : H22年
	専 業 農 家 数	105 -	99 -	田	86 122	105 118	麦 類	414 177	731 0	肉 用 牛	97 89	86 0	田 植 機	74 86	64 0		
	第一種兼 業農家数	66 -	58 -	畑	70 61	43 192	豆 類	450 246	1,110 276	豚	94 210	198 170	コンバイン	75 93	70 0		
	第二種兼 業農家数	71 -	55 -	樹 園 地	71 171	121 82	野 菜 類	121 113	137 108	採 卵 鶏	80 663	5 1,710					
	農 業 従 事 者 数	74 75	56 59	草 地	182 120	218 131	果 樹 類	0 -	892 -								
変 化 の 理 由	他産業への移行および、大規模農家への作業委託が進み農家数の減少。 【2020年農林業センサスにおいて、専業・第一種兼業・第二種兼業農家数の調査は行われていない。】			耕地については耕作放棄地の解消が考えられる。			生産調整に伴う作付けの変更。集団転作の推進による豆類の大幅な作付け増。 【2020年農林業センサスにおいて、麦類・野菜類・果樹類の調査結果は大半の市町村が公表されていない。】			高齢化や大規模経営の増加による。			農作業の委託増加及び機械の共同利用による減少。規模拡大による機械の大型化が進行している。 【2020年農林業センサスにおいて、動力農機具の調査は行われていない。】				

第 6 節 地域環境の概況

本地区は、平坦な水田地帯である。地区内の用排水路は、ドジョウ、メダカなど5科15種の魚類、トウキョウダルマガエルなど14科17種の両生類、シオカラトンボなど49科104種の昆虫類、シロツメクサ、セリなど51科203種の植物が生息しており、豊かな自然を有する地域である。

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区の現況ほ場は、10a区画で整備されているが、末端水路は用排兼用の土水路で、底高も浅く利水・維持管理に苦慮している。農道は極めて狭小のため、大型農業機械の導入が困難となっており営農に支障をきたしている状況にある。

このような状態を改善するため、区画拡大、農道拡幅、用排水路の分離を行い、耕地の汎用化を図るとともに、水管理の合理化を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	区画整理事業												計	備 考
	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小 計	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	……	小 計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	80.4 77.5	- 1.5	- -	- -	- -	80.4 79.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	80.4 79.0	
暗渠排水	80.4 77.5	- -	- -	- -	- -	80.4 77.5	- -	- -	- -	- -	- -	- -	80.4 77.5	
計	80.4 77.5	- 1.5	- -	- -	- -	80.4 79.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	80.4 79.0	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

(1) 経営方式

本地区は、水稻・飼料作物を基幹とした経営を行い、農業生産法人・担い手農家等への農地の利用集積を図り、機械共同利用等により経営規模の拡大を図るとともに大型機械の導入によりコストの低減を図る。

(2) 経営組織及び作業体系

農地の集団化を図り、大型機械の共同利用を進めるとともに、利用権設定若しくは作業委託により農地を担い手農家等に集約し、農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区	分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	現	況	82.0 81.7	0.5 0.4	－ －	－ －	－ －	－ －	82.5 82.1	－ －	－ －	9.5 9.5	92.0 91.6	
	計	画	80.4 77.5	0.0 1.5	－ －	－ －	－ －	－ －	80.4 79.0	－ －	－ －	11.6 12.6	92.0 91.6	
	現	況												
	計	画												
計	現	況	82.0 81.7	0.5 0.4	－ －	－ －	－ －	－ －	82.5 82.1	－ －	－ －	9.5 9.5	92.0 91.6	
	計	画	80.4 77.5	0.0 1.5	－ －	－ －	－ －	－ －	80.4 79.0	－ －	－ －	11.6 12.6	92.0 91.6	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
区画整理	現況	水稻＋飼料作物＋野菜	田＋畑				水 稲													水 稲																										
							大 豆													大 豆																										
							牧 草													牧 草																										
							野 菜													野 菜																										
事業計画	計画	水稻＋飼料作物＋野菜	田＋畑				水 稲													水 稲																										
							飼 料 用 米													飼 料 用 米																										
							大豆（裏：大麦）													大豆（裏：大麦）																										
							野 菜													野 菜																										

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加	
区 画 整 理 事 業	水 田	水 稲	53.1 52.9	53.1 52.4	- △0.5	66 66	67 67	561 557	572 568	11 11	297.9 294.7	303.7 300.5	5.8 5.8	- -	5.8 5.8	
		飼料用米	- -	2.9 6.7	2.9 6.7	- -	4 9	- -	- -	- -	- -	16.3 16.3	16.3 16.3	16.3 16.3	- -	
		牧 草	5.5 5.5	5.9 -	0.4 △5.5	7 7	7 -	850 822	850 -	- △822	46.8 45.2	50.2 -	3.4 △45.2	3.4 △45.2	- -	
		大 豆	11.4 12.2	15.0 14.5	3.6 2.3	14 15	19 19	198 175	198 289	- 114	22.6 21.4	29.7 28.5	7.1 7.1	7.1 7.1	- -	
		裏作(大麦)	- -	7.5 7.5	7.5 -	- -	9 9	307 396	307 396	- -	- -	23.0 23.0	23.0 23.0	23.0 23.0	- -	
		たまねぎ	0.2 0.2	0.5 1.0	0.3 0.8	- -	1 1	2,161 2,278	2,161 2,278	- -	4.3 4.6	10.8 11.1	6.5 6.5	6.5 6.5	- -	
		ネ ギ	1.2 -	2.0 -	0.8 -	1 2	2 -	1,398 1,532	1,398 1,532	- -	16.8 -	28.0 11.2	11.2 11.2	11.2 11.2	- -	
		自己保全管 理	8.2 7.2	- -	△8.2 △7.2	- -	- -	- -	- -	- -	- -	11.2 11.2	11.2 11.2	11.2 11.2	- -	
		さつまいも	- -	- 1.9	- 1.9	- -	- 2	- 708	- 708	- -	- -	11.2 11.2	11.2 11.2	11.2 11.2	- -	
	普 通 畑	休 耕	0.5 -	- -	△0.5 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	11.2 11.2	11.2 11.2	11.2 11.2	- -	
		たまねぎ	- 0.4	- 1.5	- 1.1	- 1	- 2	- 2,278	- 2,278	- -	- 9.1	11.2 20.3	11.2 11.2	11.2 11.2	- -	
			- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	11.2 11.2	11.2 11.2	11.2 11.2	- -	
	合 計		80.1 78.4	86.9 85.5	6.8 7.1	88 91	109 109	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事 業 名	項 目 土地利用区分	作 物 名	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
区画整理事業	水 田	水 稲	53.1	人 力	206.5 177.9	142.3 145.6	△64.2 △32.3	
			52.4	機 械 力	92.9 83.1	69.7 73.2	△23.2 △9.9	
		飼料用米	2.9	人 力	206.5 177.4	142.3 145.8	△64.2 △31.6	
			6.7	機 械 力	92.9 82.8	69.7 75.7	△23.2 △7.1	
		牧 草	5.9	人 力	95.5 -	48.6 -	△46.9 -	
			-	機 械 力	95.5 -	48.6 -	△46.9 -	
		大 豆	15.0	人 力	155.9 118.4	23.6 75.1	△132.3 △43.3	
			14.5	機 械 力	111.9 84.9	17.4 18.3	△94.5 △66.6	
		大 麦	7.5	人 力	77.3 69.9	35.2 37.6	△42.1 △32.3	
			7.4	機 械 力	80.9 80.2	36.9 41.9	△44.0 △38.3	
		たまねぎ	0.5	人 力	2,247.0 2,244.0	2,239.0 2,242.0	△8.0 △2.0	
			1.0	機 械 力	52.0 49.0	44.0 47.0	△8.0 △2.0	
		ネ ギ	2.0	人 力	3,374.0 -	3,349.0 -	△25.0 -	
			-	機 械 力	144.0 -	119.0 -	△25.0 -	
		さつまいも	-	人 力	- 1,723.0	- 1,723.0	- -	
			1.9	機 械 力	- 133.0	- 123.0	- △10.0	
合 計			86.9 83.9	-	-	-		

6. 級地別土地利用区分

該当なしに付き省略

(第9表－5)

区 分 級 地 別		農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
土 地 利 用 区 分												
農 地	田											
	輪 換 耕 地											
	畑											
	(普 通 畑)											
	(牧 草 畑)											
	樹 園 地											
	(果 樹 園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

該当なしに付き省略

(第9表－6)

項 目 区 分		配 分 戸 数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)						備 考		
			田	輪換耕地	畑						計
					普通畑	牧草畑	樹園地				
増	反		()	()	()	()	()	()	()		
入	植		()	()	()	()	()	()	()		

第 3 節 用 水 計 画

1. 計画基準年

国営かんがい排水事業「鳴瀬川地区」の計画諸元に基づき、昭和60年(鹿島台観測所)を計画基準年とする。

かんがい期有効雨量	282.4 mm	(1/10)
連続旱天日数	53.7 日	(1/10)
河川渴水位	- m3/s	(-/-)

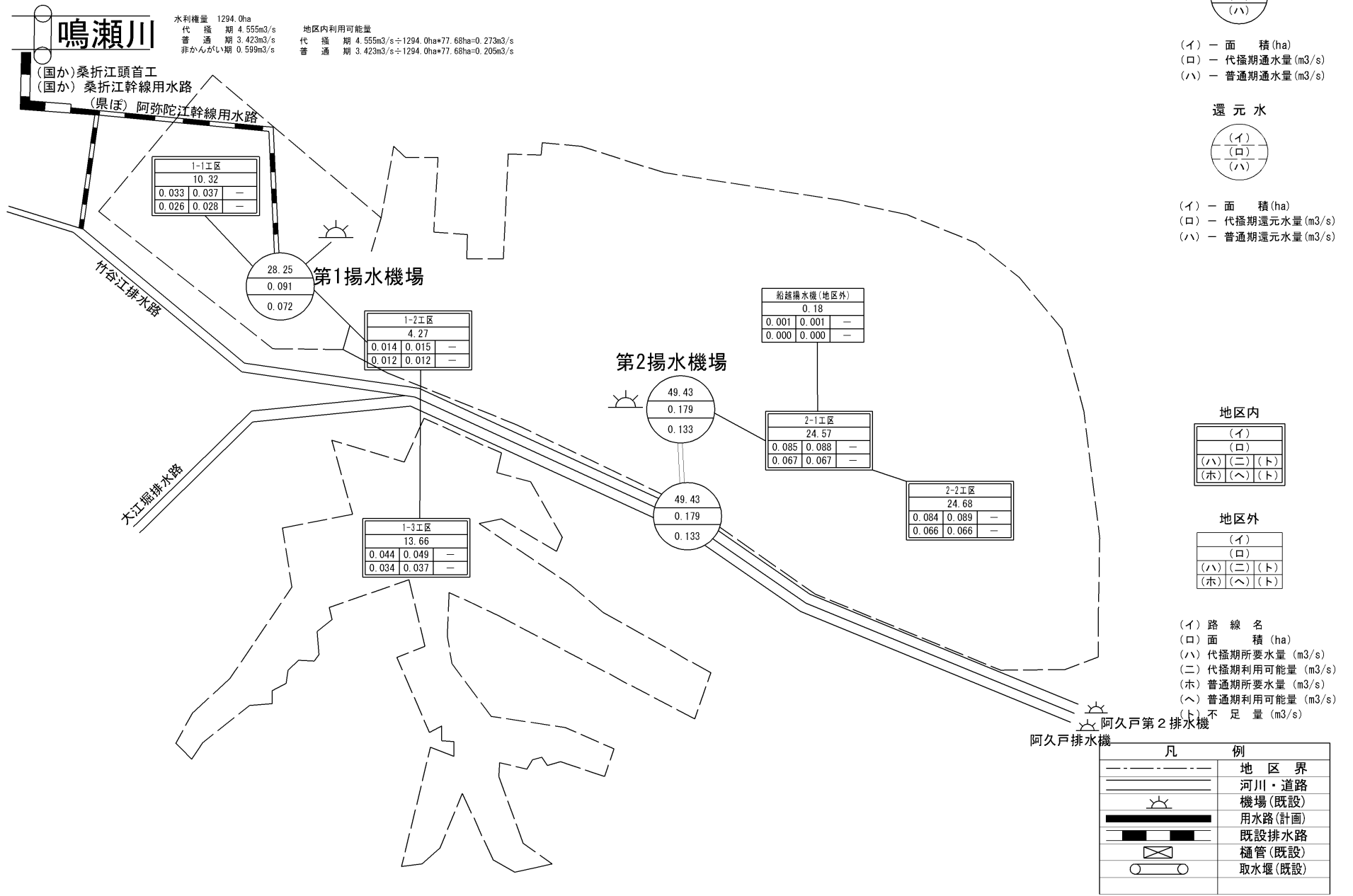
2. 計画かんがい方式

水 田 水 稲	・ ・ ・ ・ ・	湛水かんがい	かんがい期間	133 日	4 月 26 日 ~ 9 月 5 日
			(代掻期間	15 日	4 月 26 日 ~ 5 月 10 日)
畑 地	・ ・ ・ ・ ・	うね間かんがい			

本地区の用水は、一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川に設置されている桑折江頭首工から取水し、桑折江幹線用水路に供給され、各用水路を経て受益地内へかんがいされる。

水田かんがい方法は、揚水機場により加圧しパイプラインにて送水するパイプライン方式とする。

3. 計画用水系統



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系 統 名	種 別	面積 (ha)	水 田 か ん が い			水 田 畑 利 用			畑 地 か ん が い			そ の 他		消 費 水 量 (m³／S)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考
		事 業 名	普 通 期	代かき期	面 積 (ha)	一 日 平 均 当 たり 計 画 水 深 (mm／日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一 日 平 均 当 たり 計 画 水 深 (mm／日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm／日)	面 積 (ha)			平 均 (m³／S)	最 大 (m³／S)	
		区画整理事業	計 画 平 均	計 画 代 か き														
			単 位 用 水 量 (mm／日)	単 位 用 水 量 (mm／日)														
桑折江	農 業	80.4	19.2	120.0	56.7	4	7	23.7	-	-	-	-	-	代 0.269 普 0.210 代 0.269 普 0.210	10 10	0.212	0.269	桑折江 頭首工
		77.5	19.2	120.0	54.7	4	7	22.8	-	-	-	-	-					
計		80.4	-	-	56.7	-	-	23.7	-	-	-	-	-	-	-	0.212	0.269	
		77.5	-	-	54.7	-	-	22.8	-	-	-	-	-					

※転作作物の飼料用米・ホムクロップ・サレシ面積は水田かんがい面積に含む

(2) 営農飲雑水

該当なしに付き省略

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水		補 給 回 数	関 係 戸 数	備 考
		事 業 名			単位給水量	最大給水量			
					(リットル/日)	(リットル/日)	(回)	(戸)	

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なしに付き省略

(第10表-2)

項 目 区 分	消費水量	有効雨量	純用水量	祖用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
	a	b	c=a-b	d= c/(1- α)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足量	全不足 水量	水源名	水量		
	(千 m^3)	(千 m^3)	(千 m^3)	(千 m^3)		e (千 m^3)	f (千 m^3)	g=c-f (千 m^3)	h=d-e (千 m^3)		(千 m^3)		α :損失率
													$\alpha = \%$

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なしに付き省略

(第10表-3)

項 目 貯 水 池 名	流域面積 (km ²)		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名							
	直 接	間 接			計					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なしに付き省略

(第10表-4)

項 目 貯 水 施 設 名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんが い 面 積 (ha)			取 水 量 (m ³ /s)		渇 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最 大	平 均		
					計				

(ウ) 揚 水 機

(第10表-5)

項 目 名 称	水 源 名	かんがい面積 (ha)	所要水量 (m ³ /s)		揚 水 機				備 考
			最 大	平 均	実 揚 程 (m)	揚 水 量 (m ³ /s)	台 数 (Kw×台)	全揚水量 (m ³ /s)	
第1揚水機場	桑折江	29.2 28.2	0.094 0.094	0.074 0.072	6.9 8.8	0.094 0.094	15×2 18.5×2	0.094 0.094	
第2揚水機場	桑折江	51.2 49.3	0.176 0.176	0.138 0.138	3.6 5.5	0.176 0.176	18.5×2 22.0×2	0.176 0.176	
計		80.4 77.5							

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)		最 大 通 水 量 (m³/s)	延 長 (Km)	構 造	備 考
	事 業 名					
	区画整理事業	計				
幹線用水路	(80.4) 0.0	(80.4) 0.0	0.176 0.0	0.482 0.0	大型フリューム -	
パイプライン	80.4 77.5	80.4 77.5	0.176 0.176	9.905 10.382	塩ビ管	
計	80.4 77.5	80.4 77.5		10.387 10.382		

(オ) その他の水源施設

該当なしに付き省略

(3) 水温水質

該当なしに付き省略

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

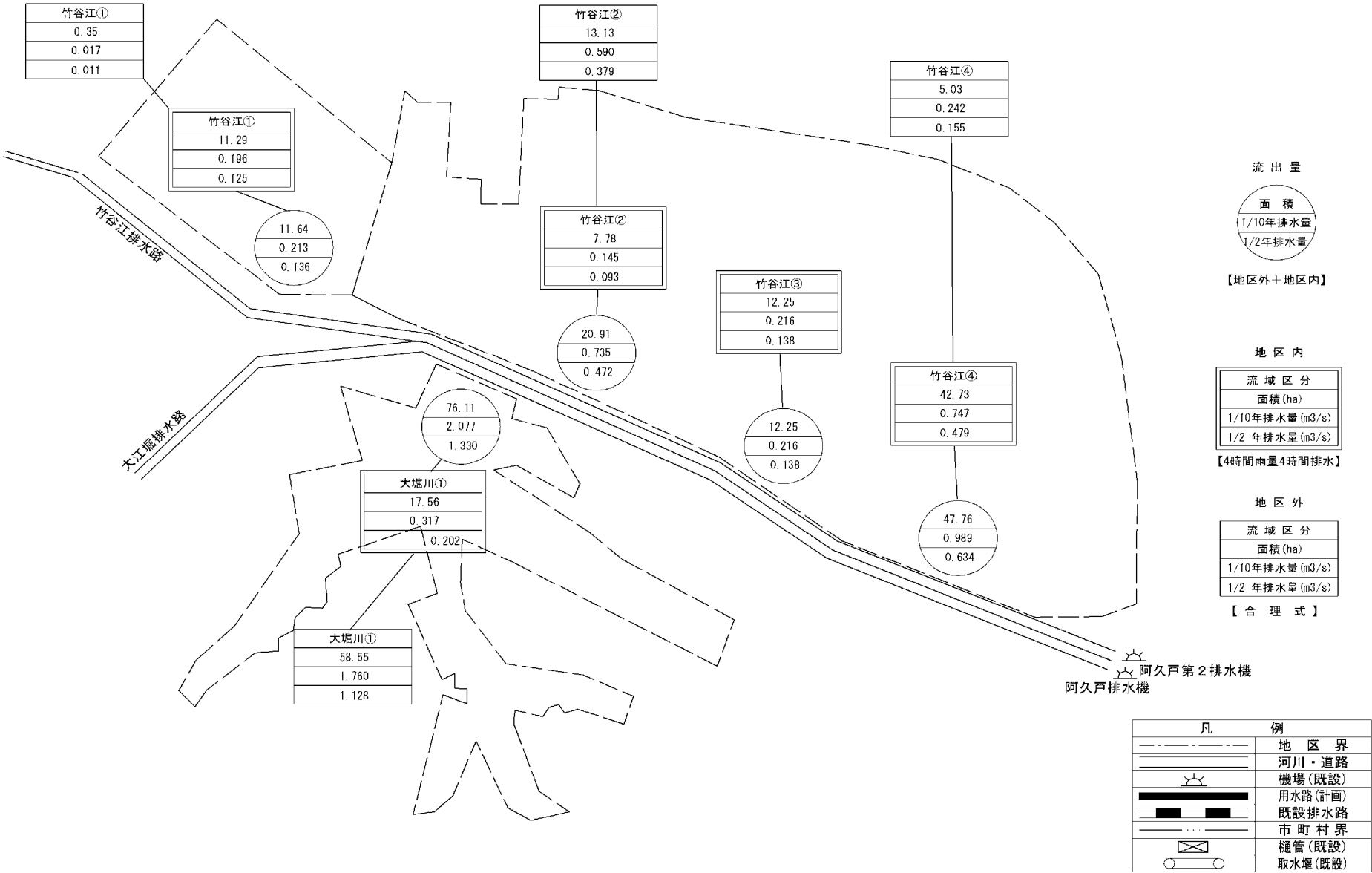
排水諸元は、「鹿島台観測所」における昭和27年～平成26年までの資料により、岩井法にて確率計算された1／2年確率最大日雨量 $R_{2.4} = 84.2 \text{ mm/日}$ 、1／10年確率最大日雨量 $R_{131.4} = 131.4 \text{ mm/日}$ を基準雨量として採用する。

確 率 年	最 大 日 雨 量
1/ 2 年確率	84.2 mm
1/10 年確率	131.4 mm

2. 計画排水方式

本地区の排水は、地区内排水路を経て支線排水路に集水され、常時排水は竹谷江排水路及び大江堀排水路にて鳴瀬川へ自然排水され、洪水時は阿久戸第2排水機場により一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川に機械排水する。

3. 計画排水系統図



4. 計画排水量

(第11表-1)

項 目 排水系統名	受益面積 (ha)	流 域 面 積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位 流出量 (m ³ /S/Km ²)		基 底 流 出 量 (m ³ /S/Km ²)		全排水量 (m ³ /S)		単位排水量 (m ³ /S/Km ²)		備 考	
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地		平 地
										自然排水	機械排水			
竹谷江	74.1 74.1	- -	0.926 0.926	131.4 131.4	- -	2.326 2.326	- -	- -	2.154 2.154	- -	2.326 2.326	一級河川鳴瀬川		
大堀川	17.9 17.5	- -	0.761 0.761	131.4 131.4	- -	2.724 2.724	- -	- -	2.073 2.073	- -	2.724 2.724	一級河川鳴瀬川		
計	92.0 91.6		1.687 1.687						4.227 4.227					

※排水受益面積は一定区域面積記載

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なしに付き省略

(第11表-2)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機

該当なしに付き省略

(第11表-3)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m ³ /S)	台 数 (台)	全 排 水 量 (m ³ /S)	
				計							

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)		計 画 排 水 量 (m ³ /S)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名					名 称	計 画 洪 水 量 (m ³ /S)	計 画 洪 水 位 (m)	
		区画整理事業	計							
支線排水路	0.098~0.477 0.098~0.477	(92.0) (91.6)	(92.0) (91.6)	0.18~0.99 0.18~0.99	1.871 2.623	排水フリーム	鳴瀬川	-	-	
小排水路	0.003~0.157 0.003~0.157	(92.0) (91.6)	(92.0) (91.6)	0.08~0.68 0.08~0.68	6.969 6.280	排水フリーム	鳴瀬川	-	-	
承水路	0.001~0.023 0.001~0.023	(92.0) (91.6)	(92.0) (91.6)	0.00~0.05 0.00~0.05	1.358 2.196	排水フリーム	鳴瀬川	-	-	
計		92.0 91.6	92.0 91.6		10.198 11.099					

※排水受益面積は一定区域面積記載

(4) そ の 他

該当なしに付き省略

6. 湛 水 検 討

該当なしに付き省略

第 5 節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路 線 名	幅(有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支線道路	5.0(4.0) 5.0(4.0)	6.556 6.782	砂利道	-	
耕作道路	4.0(3.0) 4.0(3.0)	0.292 0.476	砂利道	-	
計		6.848 7.258			

(2) 索 道

該当なしに付き省略

(第12表-2)

項 目 路 線 名	能 力(t/hr)	延 長(m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図



第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

該当なしに付き省略

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

該当なしに付き省略

2. 土 壤 改 良

該当なしに付き省略

(第13表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土壌統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100ml)	ha 当 た り 所 要 量			備 考
			H2O	K C L			石 灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有 機 質 資材(t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なしに付き省略

2. 計画洪水量及び調節量

該当なしに付き省略

(第14表-1)

地 点	流 域 積 (km ²)	洪 水 到達時間 (hr)	計 画 洪水量 (m ³ /S)	安 全 洪水量 (m ³ /S)	必 要 調節量 (m ³ /S)	ピーク時 調節量 (m ³ /S)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /S)	調節後 最大流量 (m ³ /S)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /S)	最大調節量 (m ³ /S)

3. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第14表-2)

項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /S)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節 流 量 (m ³ /S)	可能調節流量 (m ³ /S)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なしに付き省略

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なしに付き省略

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なしに付き省略

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なしに付き省略

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なしに付き省略

(3) 洪水調節要領

該当なしに付き省略

第 8 節 干 拓 計 画

該当なしに付き省略

(第 15 表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計画高潮 (水) 位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (hPa)	備 考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
150.0 × 75.0	1.0ha以上	59.8 57.6	74.4 74.3	0.0~0.3未満 0.0~0.3未満	
95.8 × 55.7	0.5~1.0ha未満	9.7 9.3	12.1 12.0	〃 〃	
72.6 × 57.2	0.3~0.5ha未満	6.6 5.9	8.2 7.6	〃 〃	
不 整 形	0.3未満	4.3 4.7	5.3 6.1	〃 〃	
	小 計	80.4 77.5	100.0 100.0		
普 通 畑	-	- -	- -	- -	
計		80.4 77.5	100.0 100.0	-	

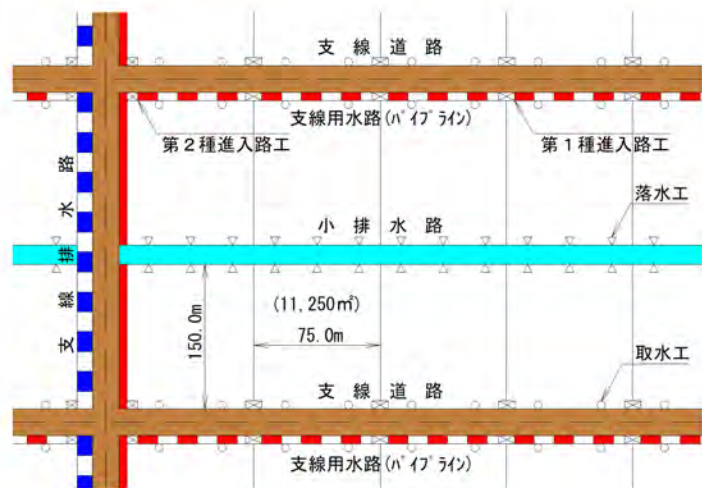
(2) 表土扱い

(第16表-2)

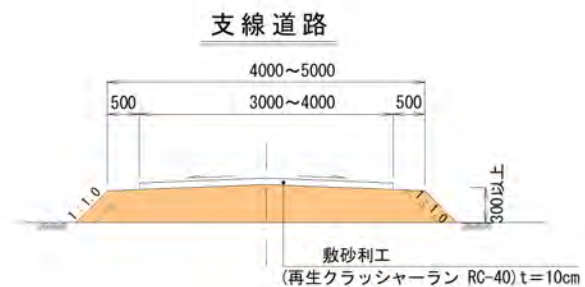
面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
30.7 3.3	作土及び有効土層の確保	15 15	46,000 4,900	

(3) 末端道水路配置図

標準区画割図

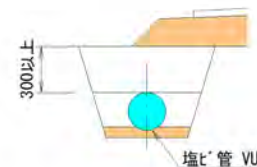


標準構造図



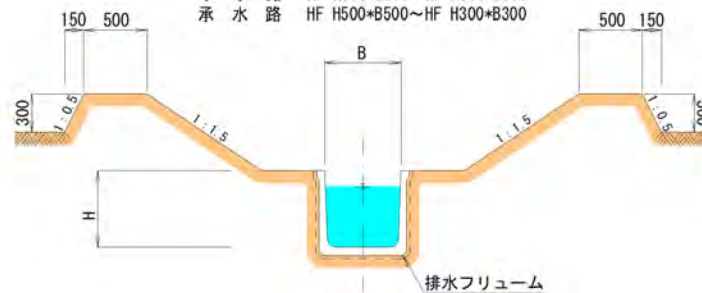
支線用水路 (ハ'イ'ライン)

Wφ150~400

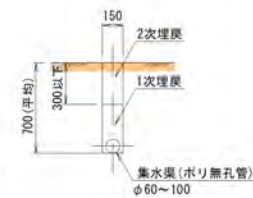
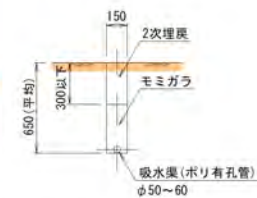
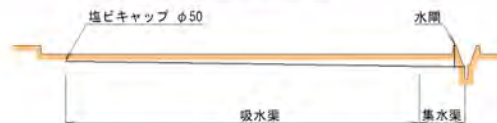


支線・小排・承排水路

支線排水路 HF H1000*B2000~H600*B600
小水路 HF H700*B800~HF H500*B500
承水路 HF H500*B500~HF H300*B300



暗渠排水断面



2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 分	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 (m³/S/ha)	計 画 後 水 の 位 地 下 水 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 法	備 考
	事 業 名							
	区画整理事業	計						
本暗渠	80.4	80.4	黒泥土壌 粘土型 (G21)	131.4	0.00347	0.5	小排水路へ 自然排水	地表残留水 30mm/日
	77.5	77.5	灰褐色土壌 強粘土構造型 (G60) 灰褐色土壌粘土質マンガン型 (G61) 灰褐色土壌壤土マンガン型 (G63)	131.4	0.00347	0.5		
計	80.4	80.4						
	77.5	77.5						

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第16表-3-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 分	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名				
		計			
計					

3. 客 土

該当なしに付き省略

(第16表-4)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 名	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客 土 量 (m³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名			現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
		計									
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なしに付き省略

(第16表-5-1)

項 目 区 分	最 大 風 速 (m/S)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

該当なしに付き省略		(第16表-5-2)				
項 目 名 称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /S/ha)	全排水量 (m ³ /S)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

該当なしに付き省略		(第16表-5-3)		
項 目 施 設 名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考
計				

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なしに付き省略

(2) 計画洪水量

該当なしに付き省略

2. 堤体補強計画

該当なしに付き省略

3. 取水施設改修計画

該当なしに付き省略

第 5 章 主 要 工 事 計 画

第 1 節 用 水 施 設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第 17 表－1)

名 称	流域面積 (Km ²)		位 置	貯 水 量 (千m ³)					備 考
堤 体	型 式	直 接	間 接	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎基盤 地 質	総貯水量	
								有効貯水量	
洪水吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /S)		取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /S)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m ³ /S)

2. 頭 首 工

該当なしに付き省略

(第 17 表－2)

名 称	位 置			備 考		
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /S)
		固 定 部	可 動 部	計		

3. 揚 水 機

(第 17 表－3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /S)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (Kw)	台 数 (台)	
第1揚水機場	大崎市鹿島台 船越字長柳下	0.094 0.094	17.0 18.7	6.90 6.80	水中ポンプ	150 150	2 2	-	15.0 18.5	2 2	
第2揚水機場	大崎市鹿島台船越字田待下 大崎市鹿島台船越字阿久戸	0.176 0.179	10.9 13.5	3.60 3.50	水中ポンプ	250 250	2 2	-	18.5 22.0	2 2	
計											

4. 用 水 路

(第17表-4)

項 目 水 路 名	かんがい面積 (ha)		通 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業	計								
幹線用水路	(80.4) 0.0	(80.4) 0.0	0.176 0.0	0.413 0.0	0.069 0.0	0.482 0.0	大型フリューム -	-	-	
パイプライン	80.4 77.5	80.4 77.5			9.905 10.382	9.905 10.382	塩ビ管	-	-	
計	80.4 77.5	80.4 77.5		0.413 0.0	9.974 10.382	10.387 10.382				

5. その他かんがい施設

該当なしに付き省略

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なしに付き省略

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m³/S)	備 考

2. 排 水 機

該当なしに付き省略

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m³/S)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水 路 名	受 益 面 積(ha)		排 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業	計								
支 線 排 水 路	(92.0) (91.6)	(92.0) (91.6)	0.180～0.990 0.180～0.990	1.705 2.336	0.166 0.287	1.871 2.623	排水フリューム	1/2,000	-	
小 排 水 路	(92.0) (91.6)	(92.0) (91.6)	0.008～0.680 0.008～0.680	6.661 6.064	0.308 0.216	6.969 6.280	排水フリューム	1/300～ 1/2,000	-	
承 水 路	(92.0) (91.6)	(92.0) (91.6)	0.000～0.050 0.000～0.050	1.268 2.135	0.090 0.061	1.358 2.196	排水フリューム	1/500～ 1/2,000	-	
計	92.0 91.6	92.0 91.6	-	9.634 10.535	0.564 0.564	10.198 11.099	-	-	-	

4. その他排水施設

該当なしに付き省略

第 3 節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区分	路 線 名	幅(有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
					名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線道路	25路線 26路線	5.0(4.0) 5.0(4.0)	6.556 6.782	砂利	-	-	-	-	-	-	
耕作道路	3路線 4路線	4.0(3.0) 4.0(3.0)	0.292 0.476	砂利	-	-	-	-	-	-	
計			6.848 7.258								

(2) 道路主要構造物

該当なしに付き省略

(第19表-2)

項 目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索 道

該当なしに付き省略

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

該当なしに付き省略

(第20表-1)

区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫

該当なしに付き省略

(第20表-2)

区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業

該当なしに付き省略

(第20表-3)

区 分		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造 成 工 法			

(4) 地目変換

該当なしに付き省略

(第20表-4)

区 分	面 積 (ha)	工 法	備 考

(5) 末端用水路等
該当なしに付き省略

(第20表-5)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(6) 末端排水路等
該当なしに付き省略

(第20表-6)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 土壌改良

該当なしに付き省略

(第20表-7)

区 分	項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭 首 工
該当なしに付き省略

(第21表-2)

名 称		位 置					備 考	
型 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計画洪水位 (m)		付帯設備
			固定部	可動部	計			

(2) 導水路

該当なしに付き省略

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

該当なしに付き省略

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め

該当なしに付き省略

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

該当なしに付き省略

4. 埋立

該当なしに付き省略

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	
船越	80.4	150.0×75.0	-	30.7	46,000	
	79.0	150.0×75.0	-	3.3	4,900	

(2) 末端用水路等

該当なしに付き省略

(第23表-2)

項 目	数 量 (ヶ所, km)	規 模 (ha)	構 造	備 考
区 分				

(3) 末端排水路等

該当なしに付き省略

(第23表-3)

項 目	数 量 (km)	規 模 (ha)	構 造	備 考
区 分				

(4) 末端道路等

該当なしに付き省略

(第23表-4)

項 目	数 量 (km)	規 模 (路線)	構 造	備 考
区 分				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備 考
	事 業 名		勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名称	構 造	数 量 (m/ha)	
	区画整理事業	計														
本 暗 渠	80.4	80.4	1/500	ポリ管	φ60 ~100	75	1/500	ポリ管	φ50 ~60	0.6	10	1,190	小排水路 既設排水路	排水フリューム	—	
	77.5	77.5	1/500	ポリ管	φ60 ~100	75	1/500	ポリ管	φ50 ~60	0.6	10	1,190	小排水路 既設排水路	排水フリューム	—	
計	80.4	80.4														
	77.5	77.5														

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第23表-4-2)

区 分 \ 項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

3. 客 土

該当なしに付き省略

(第23表-5)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)		客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事 業 名	計					
計							

4. 除 礫

該当なしに付き省略

(第23表-6)

区 分 \ 項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

5. 農地保全

(1) 防 風 林

該当なしに付き省略

(第23表-7)

区 分 \ 項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考

(2) 排 水 路

該当なしに付き省略

(第23表-8)

区 分 \ 項 目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /S)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工

該当なしに付き省略

(第23表-9)

区 分 \ 項 目	構 造	数 量	備 考

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	形 式	流 域 (Km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
洪 水 吐	形 式	洪水量 (m ³ /S)	規 模 (m)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /S)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なしに付き省略

(2) 漏水防止工

該当なしに付き省略

第 6 章 附 帯 工 事 計 画

該当なしに付き省略

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 工 : 平成 30 年度

完 了 : 令和 7 年度

第 8 章 環 境 と 調 和 へ の 配 慮

本地区は、今回の事業実施に際しては、排水路にスロープを設置する事により生物の生息・生育環境の保全を図り、環境との調和に配慮するものとする。さらに、施工中の建設機械は低排出型・低騒音型を使用し環境への影響を最小限にとどめる。

第 9 章 換 地 計 画 の 概 要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の換地計画は、工事によって土地の区画が変更されることに伴い、土地所有権及びその他の権利確定と、農用地の集団化その他、農業経営の合理化を達成するため樹立するものである。

このため、換地計画に当たっては従前の土地を基準とし、権利の明確化を図り集落単位の集団化と更に個人別集団化を図ることとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称, 所在, 面積

(第25表-1)

換地区名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
船越	大崎市鹿島台	92.0 91.6

2. 換地区を設定する理由

該当なしに付き省略

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前地の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
船越	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から12ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合、その申し出があった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)	換地区名	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地					一般 国 公 有 地	総 合 計			
		田	畑	山林・ 原野	そ の 他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によつて 生ずる土地改良 施設用地			合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合 計	国	県	市 町 村 他	合 計					
						土 地 改 良	施 設	そ の 他		小 計	改 良 区	そ の 他		計	宅 地	そ の 他		計	農 業 経 営 合 理 化	施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上	必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用								施 設 用 地	宅 地 等	計
船 越	従前の土地	82.0	0.5	-	0.0	0.0	-	0.0	82.5	-	-	-	82.5	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	-	9.0	9.2	-	92.0			
		81.7	0.4	-	0.0	-	-	-	82.1	-	-	-	82.1	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	-	9.0	9.2	-	91.6				
	換地	80.4	-	-	-	0.0	-	0.0	80.4	0.5	-	0.5	80.9	-	0.3	0.3	-	-	-	-	0.4	-	0.4	0.7	0.0	-	10.4	10.4	-	92.0			
		77.5	1.5	-	-	-	-	-	79.0	0.8	-	0.8	79.8	-	0.3	0.3	-	-	-	-	0.4	-	0.4	0.7	0.0	-	11.1	11.1	-	91.6			
合 計	従前の土地	82.0	0.5	-	0.0	0.0	-	0.0	82.5	-	-	-	82.5	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	-	9.0	9.2	-	92.0			
		81.7	0.4	-	0.0	-	-	-	82.1	-	-	-	82.1	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	-	9.0	9.2	-	91.6				
	換地	80.4	-	-	-	0.0	-	0.0	80.4	0.5	-	0.5	80.9	-	0.3	0.3	-	-	-	-	0.4	-	0.4	0.7	0.0	-	10.4	10.4	-	92.0			
		77.5	1.5	-	-	-	-	-	79.0	0.8	-	0.8	79.8	-	0.3	0.3	-	-	-	-	0.4	-	0.4	0.7	0.0	-	11.1	11.1	-	91.6			

3. 農地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
船越	集落別の集団化とともに担い手農家の所有農地が面的集積の核となるように集団化を図り、大区画の効用を十分に発揮できるように配慮する。	個人別の位置については、各人の従前の土地の利用等を考慮して集団化を図るが、担い手農家による生産集積が行われ易いように集団化を図り、大区画の効用を十分発揮できるように配慮するものとする。	1.5 1.5 団地	区画畦畔の取り扱いについては、大区画の機能を損なわないよう固定畦畔とし、分割する場合には畦畔を築立せず杭による分割表示を基本とする。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
船越	市道用地	大崎市鹿島台	4,007.86	特別減歩見合いの創設換地	大崎市	
	市道用地	大崎市鹿島台	4,007.86	特別減歩見合いの創設換地	大崎市	
	市道用地	大崎市鹿島台	3,036.14	特定用途用地	大崎市	
	市道用地	大崎市鹿島台	3,036.14	特定用途用地	大崎市	
	計		7,044.00 7,044.00			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

従前の評価は、それぞれの土地の自然条件及び利用条件について点数により評価し、その点数ごとの評価額を定めて、従前の土地と換地の土地条件が見合っているか判断する。従前の土地の中から農業条件がそろった最もよい土地を標準地として選定し、その標準地との比較は、土地の自然条件が及び利用条件の評価項目を定め、その条件差を考慮して増減点評価する標準地比準評価方式により評価する。

2. 清算の方法

清算は、従前の土地の評価総額と換地の評価総額との差額（増価額）を地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額とその従前の土地の価額とを合計して換地交付基準額を定め、これと換地額の価額との差を徴収、交付する比例地積清算方式によって行う。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第 2 5 表－6)

区 分 換 地 区 名	一 時 利 用 地 指 の 予 定 年 度	換地計画の 決 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
船越	令和 元 年度 から 令和 4 年度 まで 6	令和 8 年度 7	令和 8 年度 7	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

地区全体の区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第 8 9 条の 2 第 1 0 項において準用する同法第 5 4 条第 2 項本文の規定ただし書きに基づき換地処分を行うことができる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

種 目		事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
区 分				
区 画 整 理 工	A= 80.4 79.0 ha	1,260,000 1,311,100	H29年度単価 R 6年度単価	
暗 渠 排 水 工	A= 80.4 77.5 ha	140,000 199,000		
客 土 工	A= - - ha	-		
測 量 試 験 費	一 式	106,000 112,400		
用地買収補償費	一 式	17,000 20,500		
換 地 費	一 式	77,000 87,000		
小 計		1,600,000 1,730,000		
事 務 的 経 費	一 式	80,000 85,000		
計		1,680,000 1,815,000		
関 連 事 業 (参 考)				
	計			

第 11 章 効 用

(第 27 表)

事業名 区 別	項 目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	備 考
区 画 整 理 事 業	作 物 生 産 効 果	29,598 36,550	4,432 1,519	H29年度単価 R 6年度単価
	営 農 経 費 節 減 効 果	110,497 104,651	112,459 106,335	
	維 持 管 理 費 節 減 効 果	△4,200 △5,621	935 2,050	
	耕 作 放 棄 防 止 効 果	0 0	- -	
	非 農 用 地 創 設 効 果	24 31	- -	
	国産農産物安定供給効果	4,543 7,286	- -	
	計	140,462 142,897	117,826 109,904	

総費用額 2,309 百万円
 (参考) 総便益額 2,546 百万円

総費用額 3,237 百万円
 (参考) 総便益額 3,427 百万円

第 12 章 関 連 す る 事 業

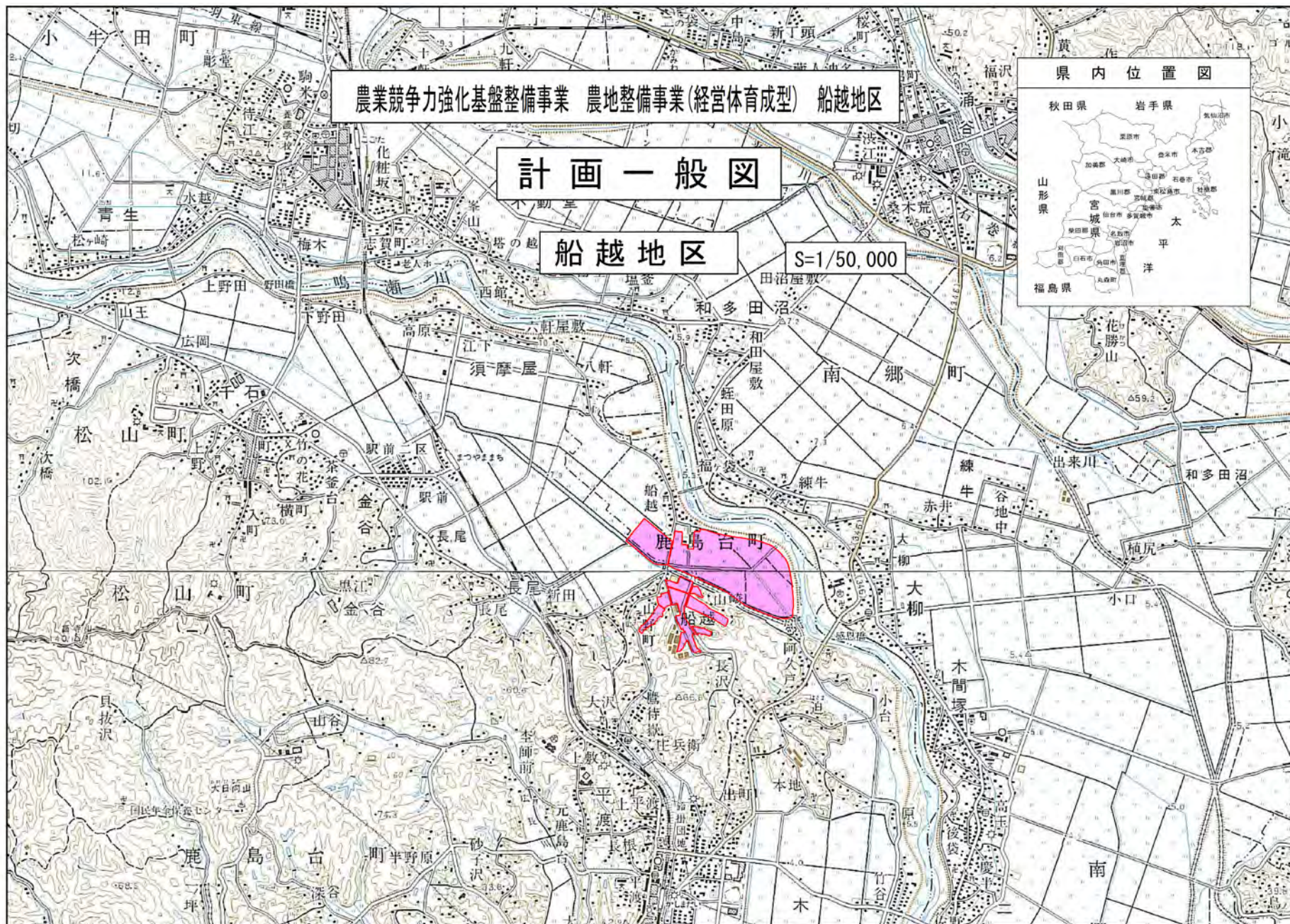
(第 28 表)

区 分	事業名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	備 考
同種	国営かんがい排水事業 鳴瀬川地区	農林水産省	7,893.0 (80.4) 7,893.0 (77.5)	【関連事業】ダム・頭首工
同種	国営かんがい排水事業 鳴瀬川Ⅱ期地区	農林水産省	7,893.0 (80.4) 7,893.0 (77.5)	【関連事業】幹線用水路
異種	県営湛水防除事業 阿久戸地区	宮城県	2,395.7 (92.0) 2,395.7 (91.6)	【関連施設】排水機場・幹線排水路

() 地区内受益及び流域

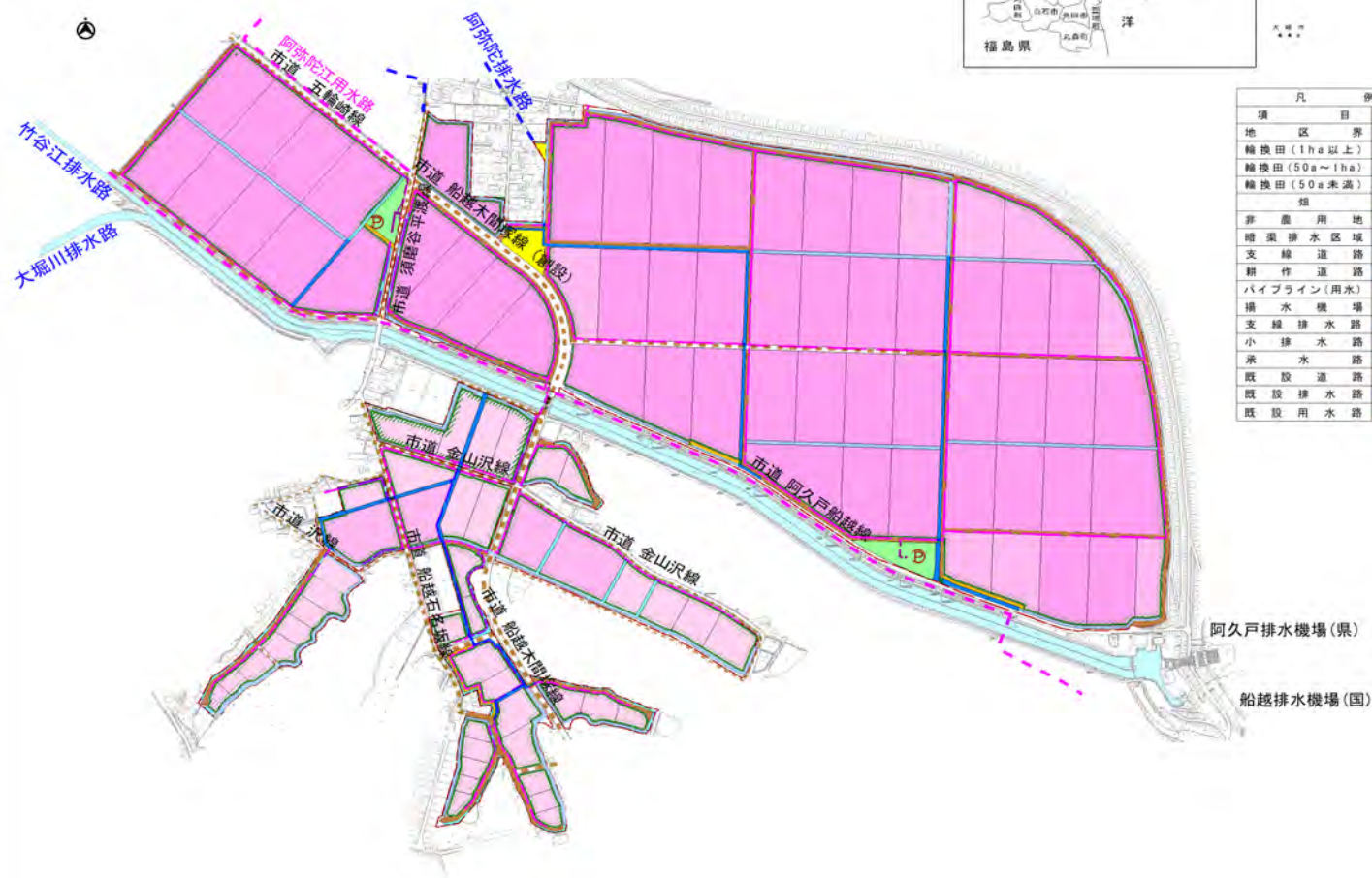
第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 計画一般図
2. 計画一般平面図
3. 土地利用計画図
4. 変更内容図



農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業（経営育成型））船越地区

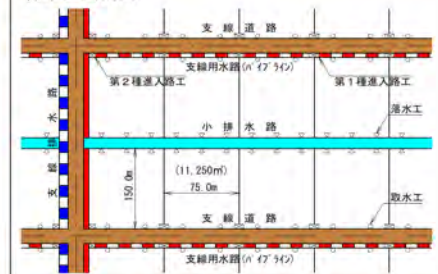
計画一般平面図



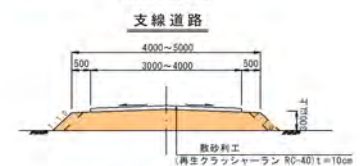
県内位置図



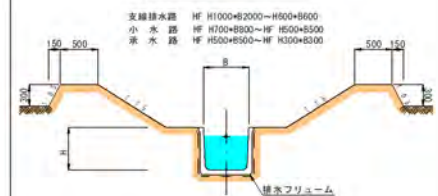
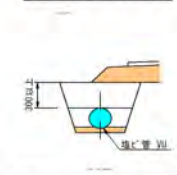
標準区画分割図



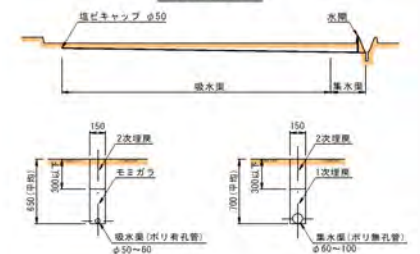
標準構造図



支線用水路 (n' 17' 54'')



暗渠排水断面





農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業(経営体育成型)） 船越地区

土地利用計画図

縮尺:1/25,000



凡 例	
	町 村 界
	農 業 振 興 地 域
	区 域 界
	農 農地(田・畑・樹園地)
	用 採 草 放 牧 地
	地 農 業 用 施 設 用 地
	船越地区事業区域

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業（経営育成型））船越地区

変更内容図

項目		変更前	変更後	増減
地区面積	A=	92.0ha	91.6ha	▲0.4ha
整地工	A=	80.4ha	79.0ha	▲1.4ha
表土扱い	A=	30.7ha	3.3ha	▲27.4ha
道路工	L=	6,848.0m	7,258.0m	410.0m
用水路工	L=	10,387.0m	10,382.0m	▲5.0m
排水路工	L=	10,178.0m	11,099.0m	921.0m
暗渠排水	A=	80.4ha	77.5ha	▲2.9ha

